

学生募集要項

2026



令和7年10月入学
[社会人早期修了入試]

令和8年4月入学
[社会人早期修了入試]

大学院 理工学研究科 理工学専攻（博士後期課程）

● 数理情報学・データサイエンスプログラム

令和7年7月

富山大学

不測の事態により、試験日程等本学生募集要項の内容を変更する場合があります。変更する必要がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせいたしますので、最新の情報を確認するように留意してください。

<https://www.u-toyama.ac.jp>

【趣旨】

富山大学大学院理工学研究科博士後期課程の数理情報学・データサイエンスプログラムでは、一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に、博士後期課程修了者としてふさわしい確実な研究能力等を、博士後期課程の標準修業年限が3年間であるところ最短1年間で身に付けることができる社会人短期修了制度を設けています。このため、社会人早期修了入試を実施し、意欲のある学生を選抜するものです。（ただし、本入試の合格によって、最短1年間での修了が保証されるものではありません。※）

※参考 博士後期課程 修了要件

博士後期課程の修了要件は、この課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、この課程に1年（2年未満の在学期間をもって修士課程又は博士前期課程を修了した者にあっては、当該在学期間を含めて3年）以上在学すれば足りるものとする。

理工学研究科博士後期課程アドミッション・ポリシー

【入学者受入れの方針】

富山大学大学院理工学研究科博士後期課程数理情報学・データサイエンスプログラムでは、以下の人材を求める。

数学、情報学及びデータサイエンスの面から技術イノベーションを牽引し、地域の人々の幸福度の向上に貢献できる数理情報学高度専門職業人及び研究者となる意欲のある学生を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

＜社会人早期修了入試＞

口述試験、面接及び出願書類により、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び博士論文作成計画書について評価する。

【求める資質・能力】

＜基盤的能力＞

理工学を中心とした広範な学問分野について広く知識を修得する意欲を持つとともに、修士課程修了相当の基礎学力として、理解力、論理的思考力、表現力を身に付けている。

＜専門的学識＞

理工学分野に深い興味を持ち、それらの専門研究を通して専門的知識と応用力を身に付け社会で活躍する意欲を持っている。

＜倫理観＞

社会の一員としての責任感や倫理観を持って主体的に研究し、科学技術の健全な発展に貢献しようという意識を持っている。

＜創造力＞

地域社会や国際社会に貢献するために、未知の問題や最先端の問題に挑戦しようという旺盛な研究意欲や柔軟な思考力を身に付けている。

目 次

大学院理工学研究科（博士後期課程）入学者選抜の概要.....	1
社 会 人 早 期 修 了 入 試（令和7年10月入学）	2
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 選抜方法	
社 会 人 早 期 修 了 入 試（令和8年4月入学）	4
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 選抜方法	
共 通 事 項.....	6
1. 出願期間	
2. 出願手続	
3. 受験票及び受験上の注意事項の印刷	
4. 合格者発表	
5. 入学手続	
6. 入学志願者の個人情報保護について	
7. 注意事項	
8. 安全保障輸出管理について	
9. 入試情報開示	
富山大学大学院理工学研究科博士後期課程の概要	17

大学院理工学研究科（博士後期課程）入学者選抜の概要

募集人員

令和7年10月入学

プログラム名	募集人員
数理情報学・データサイエンスプログラム	若干名

令和8年4月入学

プログラム名	募集人員
数理情報学・データサイエンスプログラム	2名

入学試験関係日程

事項	令和7年10月入学及び令和8年4月入学 (第1次募集)	令和8年4月入学（第2次募集）予定
出願資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和7年7月3日（木）	令和7年12月5日（金）
出願資格審査結果通知 (該当者のみ)	令和7年7月10日（木）まで	令和7年12月12日（金）まで
出願期間	令和7年7月11日（金） ～7月18日（金）	令和7年12月15日（月） ～12月19日（金）
受験票発行日	令和7年8月6日（水）予定	令和8年2月6日（金）予定
試験日	令和7年8月21日（木）	令和8年2月19日（木）
合格者発表	令和7年9月2日（火）	令和8年3月6日（金）
入学手続 (締切日)	[令和7年10月入学] 令和7年9月12日（金）予定 [令和8年4月入学] 令和8年1月21日（水）予定	令和8年3月13日（金）予定

※第2次募集は、第1次募集の定員充足状況により実施しない場合があります。

実施の有無については、令和7年10月頃本学ウェブサイト上で公表します。

社会人早期修了入試（令和7年10月入学）

1. 募集人員

プ ロ グ ラ ム	募集人員	備 考
数理情報学・データサイエンスプログラム	若干名	本研究科では、社会人の修学に特別な配慮を行うため「大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例」を適用し、教育上特別の必要があると認められる場合は離職することなく、夜間その他の特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる制度があります。なお、この制度の適用を受けることが出来る者は、研究機関、教育機関、企業等に在職し、所属長（公務員の場合は任命権者）の承認を得た者としてします。

（注）入学志願者は、事前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について必ず相談してください。指導教員が未定の場合は出願できません。

相談の主な目的は、入学後の研究分野の確認及び教育・研究等に関する方向性の確認です。

なお、相談の内容が入試の可否に直接影響することはありません。

2. 出願資格

- ・ 各種の研究機関、教育機関、企業等に勤務している研究者又は技術者で、所属長の推薦を受けた者
- ・ 査読付き学术论文（富山大学における学术论文の定義（富山大学役員会決定）※に該当するもの）が1篇以上（主たる著者であること。査読付き国際会議論文でも認められる場合がある。）又は登録特許（発明者として主たる貢献をしているもの）が1件以上ある者

※ <https://www.u-toyama.ac.jp/collaboration/treatise-definition/>

上記の条件を満たし、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和7年9月までに授与される見込みの者
（注）出願資格(1)について、修士課程又は専門職学位課程を2年未満で修了した者は出願できません。
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年9月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年9月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年9月までに取得見込の者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以

上の学力があると認められた者

(注) 出願資格(6)により出願する者は、あらかじめ本学理工系学務課工学部事務室（入試担当）へ照会し、本学が指定する書類を出願書類等と併せて提出してください。

(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示 118 号）

(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 24 歳に達している者

(注) 上記出願資格(7)及び(8)の認定については「共通事項」の「2. 出願手続」の「(4)出願資格認定申請」を参照してください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、口述試験、面接及び書類審査の結果を総合して行います。

(1) 口述試験及び面接

口述試験は、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び入学後の博士学位論文作成計画書について行います。

(2) 試験日時等（口述試験及び面接）

期 日	試験科目等	時 間	試 験 場
令和 7 年 8 月 21 日(木)	受 験 者 集 合	13 : 00	富 山 大 学 理学部・工学部 (五福キャンパス)
	口 述 試 験 面 接	13 : 30 ~	

※試験場の詳細については受験票を発行する際にお知らせします。

※なお、海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

社会人早期修了入試（令和8年4月入学）

1. 募集人員

プ ロ グ ラ ム	募集人員	備 考
数理情報学・データサイエンスプログラム	2 名	本研究科では、社会人の修学に特別な配慮を行うため「大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例」を適用し、教育上特別の必要があると認められる場合は離職することなく、夜間その他の特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる制度があります。なお、この制度の適用を受けることが出来る者は、研究機関、教育機関、企業等に在職し、所属長（公務員の場合は任命権者）の承認を得た者としてします。

（注）入学志願者は、事前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について必ず相談してください。指導教員が未定の場合は出願できません。

相談の主な目的は、入学後の研究分野の確認及び教育・研究等に関する方向性の確認です。

なお、相談の内容が入試の可否に直接影響することはありません。

2. 出願資格

- ・各種の研究機関、教育機関、企業等に勤務している研究者又は技術者で、所属長の推薦を受けた者
- ・査読付き学術論文（富山大学における学術論文の定義（富山大学役員会決定）※に該当するもの）が1篇以上（主たる著者であること。査読付き国際会議論文でも認められる場合がある。）又は登録特許（発明者として主たる貢献をしているもの）が1件以上ある者

※ <https://www.u-toyama.ac.jp/collaboration/treatise-definition/>

上記の条件を満たし、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和8年3月までに授与される見込みの者

（注）出願資格(1)について、修士課程又は専門職学位課程を2年未満で修了した者は出願できません。

- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに取得見込の者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以

上の学力があると認められた者

(注) 出願資格(6)により出願する者は、あらかじめ本学理工系学務課工学部事務室（入試担当）へ照会し、本学が指定する書類を出願書類等と併せて提出してください。

(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示 118 号）

(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に 24 歳に達している者

(注) 上記出願資格(7)及び(8)の認定については「共通事項」の「2. 出願手続」の「(4)出願資格認定申請」を参照してください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、口述試験、面接及び書類審査の結果を総合して行います。

(1) 口述試験及び面接

口述試験は、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び入学後の博士学位論文作成計画書について行います。

(2) 試験日時等（口述試験及び面接）

第1次募集

期 日	試験科目等	時 間	試 験 場
令和7年 8月21日(木)	受験者集合	13:00	富山大学 理学部・工学部 (五福キャンパス)
	口述試験 面接	13:30～	

※試験場の詳細については受験票を発行する際にお知らせします。

※なお、海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

第2次募集

期 日	試験科目等	時 間	試 験 場
令和8年 2月19日(木)	受験者集合	13:00（予定）	富山大学 理学部・工学部 (五福キャンパス)
	口述試験 面接	13:30～（予定）	

※第2次募集は、第1次募集の定員充足状況により実施しない場合があります。

実施の有無については、令和7年10月頃本学ウェブサイト上で公表します。

※試験場の詳細については受験票を発行する際にお知らせします。

※なお、海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

共 通 事 項

1. 出願期間

試験区分	出願期間
第1次募集（令和7年10月入学含む）	令和7年7月11日（金） ～7月18日（金）午後4時
第2次募集	令和7年12月15日（月） ～12月19日（金）午後4時

出願に必要な書類は出願期間内に必着するように書留速達郵便（国外から郵送する場合は、EMS等追跡可能な手段）で郵送してください。持参による出願は認めません。郵便事情を考慮して余裕をもって郵送してください。

出願期間後に到着したものは受理しないので注意してください。

ただし、出願締切日の前日以前の日付の消印（日本国内の郵便の消印に限る。）のある書留速達郵便に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

なお、送付した出願封筒について、本学への到着（配達）の有無の問い合わせには応じません。各社の追跡サービス等により、志願者本人が確認してください。

2. 出願手続

出願はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。次ページ以降の「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。

インターネット出願の流れ



事前準備

11 ページを参照してください。

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
スマートフォン、タブレットをご利用の場合各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。
(iOS 12 以上、Android OS 8 以上、iPadOS 13 以上)

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、
出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…各種証明書、写真など



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出 願 サイト ▶

<https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/>

または、

大学ウェブサイト ▶

<https://www.u-toyama.ac.jp/>

からアクセス



出願はインターネット出願サイトでの登録完了後(STEP2)、検定料を支払い(STEP3)、必要書類を印刷・郵送(STEP4、STEP5)して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願書類は出願期間最終日16時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



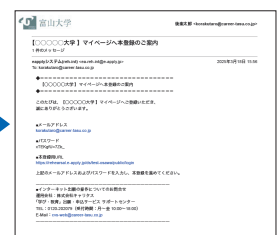
①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



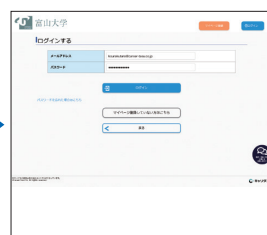
②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

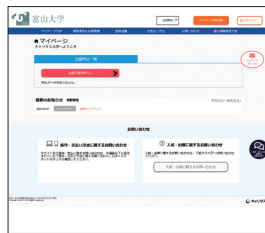
STEP

2



出願内容の登録

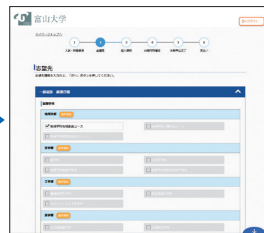
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



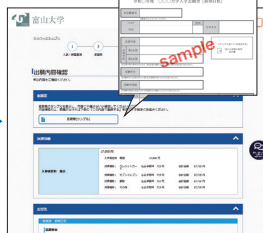
③志望研究科等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



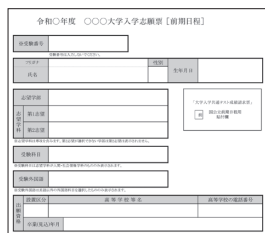
⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ページ対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

出願受付番号
メモ(12桁)

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ページ対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはページ対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ページ対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) 5 8 0 2 1 ※収納機関番号は、ページで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

3



検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願登録内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

ウェブで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

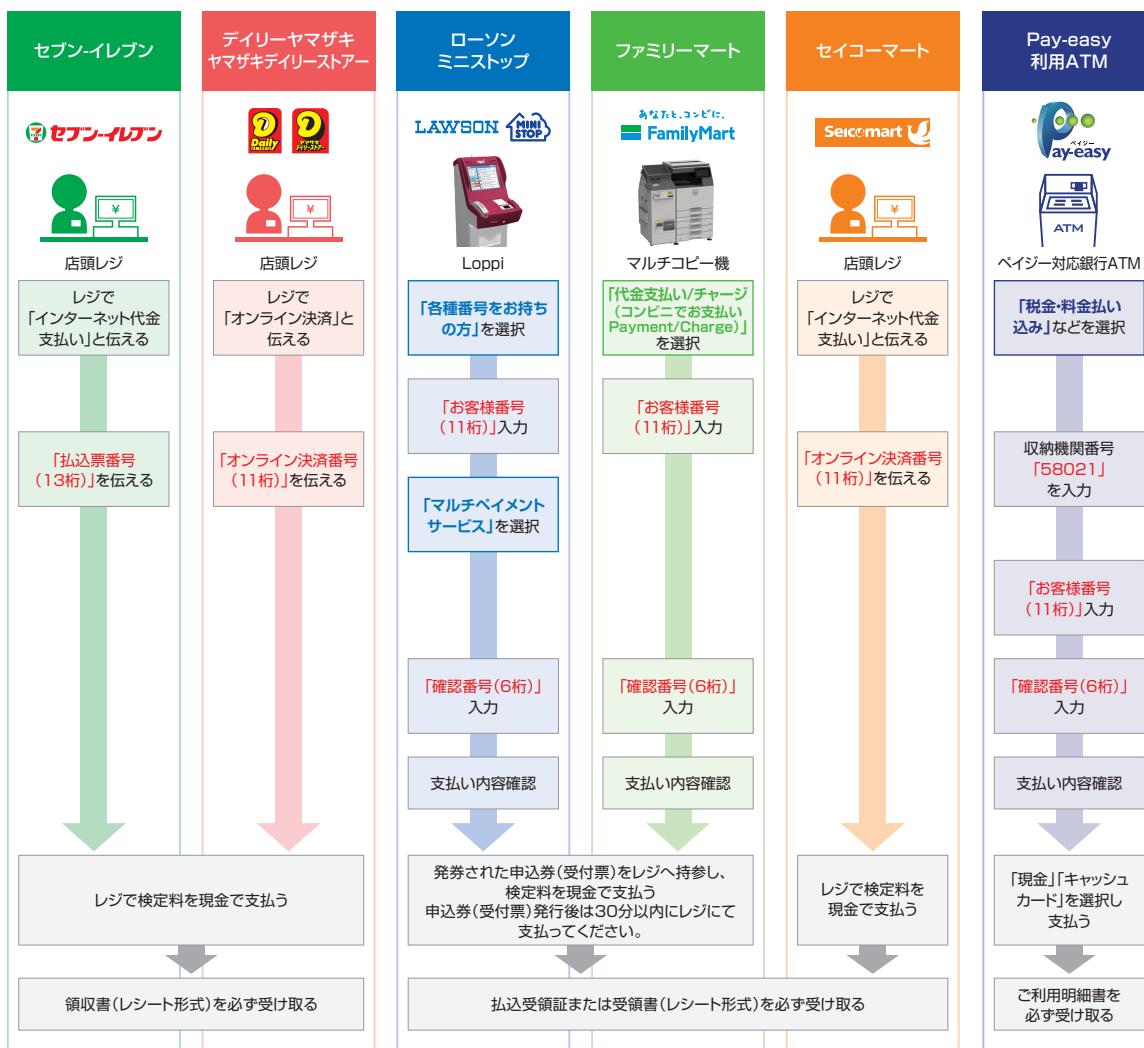
出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



STEP

4

必要書類の印刷

「出願内容の確認／志願票の印刷」ボタンからログインし、
志願票等必要書類を**A4用紙にカラー印刷**
してください。

令和3年度富山大学入学志願票(総合型選抜)

氏名	山田 太郎	性別	男性
生年月日	2000年10月10日	学年	高校3年生
住所	〒930-0000 富山県富山市1-1-1		
電話番号	090-1234-5678		
Eメール	yamada.taro@example.com		
志願理由	富山大学を志望する理由は、その歴史と伝統、そして最新の設備と教授陣の質の高さに魅力を感じています。		
志願学系	工学部	志願学科	機械工学科
志願理由	機械工学に興味があり、最新の設備と教授陣の質の高さに魅力を感じています。		
志願学系	工学部	志願学科	機械工学科
志願理由	機械工学に興味があり、最新の設備と教授陣の質の高さに魅力を感じています。		

志願票PDF(イメージ)



STEP

5

出願書類の郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。

出願に必要な書類は、本学生募集要項の12～13ページを参照して準備してください。

<出願書類到着期限>

6ページを参照してください。



出願書類の郵送先は宛名シートに
自動で印字されます。

宛名シートを市販の角形2号封筒(240mm
×332mm)に貼り付けてください。

※一旦受理した検定料・出願書類は、募集要項で明記している理由によるものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

※受理についての電話等による問い合わせには一切応じません。

STEP

6

受験票の印刷

14 ページを参照してください。

受験票等発行日以降に、インターネット出願サイトから受験票が印刷
できるようになります。「受験票の印刷」ボタンからログインし、印刷して
ください。

受験票は必ず**A4用紙にカラー印刷**して、試験当日に持参してください。



(1) 事前準備

書 類 等	摘 要
利用環境	PC利用時推奨ブラウザ ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 ※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。複数タブでの同時申込操作はお控えください。 前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンをご利用ください。 スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ・OS ・ iOS 12 以上 ・ Android OS 8 以上 ・ iPadOS 13 以上 ※ 各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。 ※ お使いのブラウザで表示が崩れることがございましたら、他のブラウザにてご確認ください。 ※ Androidのスマートフォンからの操作でChromeのPC版からはPDFの表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。
P D F 表示・印刷ソフトウェア	入学志願票（PDF）の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布している Adobe Acrobat Reader（無償）が必要です。
メールアドレス	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。 なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp スマートフォン・携帯電話の通信会社から発行されるメールアドレスを登録される方は、各通信会社の迷惑メールフィルターの解除方法に従って、@e-apply.jp からのメールが届くように設定してください。
本人写真	出願にあたって顔写真データ（ファイル形式（jpeg,jpg,png,bmp）, 最大 10 MB まで）を用意してください。 写真の大きさは縦4：横3の比率を推奨します。 写真は本人確認に使用します。 出願前3ヶ月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの写真データ（カラー）を用意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明（ぼやけている、影がある）、無背景でない（背景に風景が写っている、背景に模様がある）、化粧や前髪が目にかかるなど本人確認が困難、写真に加工を施している、現像された写真を再撮影しているなど
プリンター	入学志願票及び受験票（PDF）を出力するため、A4 普通紙に印刷することができるカラープリンターが必要です。 印刷用紙（普通紙・PPC 用紙・OA 共通用紙・コピー用紙等）とともに用意してください。
角2封筒	入学志願票等の出願書類を郵送するため、市販の角形2号封筒（240 mm × 332 mm）を用意してください。入学志願票を印刷した際に出力される「宛名シート」を封筒に貼り付けて使用してください。

(2) 検定料

30,000 円

検定料の支払いは、8 ページの STEP 2 の出願内容の登録完了後に行います。本学の「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/>)」から出願し、志願者登録完了後、検定料決済を行ってください。検定料の支払方法は、9 ページの STEP 3 の検定料の支払いにより確認してください。検定料支払い後に、入学志願票を印刷することが可能になります。

なお、検定料の支払いには、別途手数料が必要です。手数料は支払人負担となります。

また、災害による被災者に対して検定料免除の制度があります。詳細は本学のウェブサイトを参照してください。

一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料の返還請求ができる場合及び返還額

ア 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合〔返還額〕30,000 円

イ 検定料を二重に払い込んだ場合〔返還額〕30,000 円

ウ 検定料を多く払い込んだ場合〔返還額〕多く払い込んだ額

ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

② 返還請求の方法

別添の「検定料返還請求書」に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。

送付先：〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学財務施設部経理第一課 電話 076 (445) 6053

③ 注意事項

学内進学者は、検定料の支払いは不要です。

インターネット出願サイトに登録する際、必ず「検定料免除」をチェックしてください。

パスワードは「7. 注意事項 (6)」(16 ページ)に記載の問い合わせ先へ問い合わせてください。

(3) 出願書類等

志願者は、必要書類を「宛名シート」を貼付した封筒に入れ、書留速達郵便で送付してください。必要書類の送付は、9 ページの STEP 3 の検定料の支払いが完了した後に行います。

① インターネット出願サイトから印刷する書類

書 類 等		摘 要
1	入 学 志 願 票	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。検定料の支払い後に、印刷が可能となります。
2	宛 名 シ ー ト	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。市販の角形 2 号封筒 (240mm × 332mm) に剥がれないように貼付してください。
3	誓 約 書	インターネット出願サイトから A 4 サイズで印刷してください。「8. 安全保障輸出管理について」(16 ページ)を参照してください。

印字されている内容に誤りがないか必ず確認してください。

② 志願者が準備する書類

書 類 等		摘 要
1	修士課程修了（見込） 証明書 ※1, 2	出身大学（研究科等）長が作成したもの。ただし、本学大学院各研究科等修了（見込）の者は、提出する必要はありません。
2	大学院成績証明書 ※1, 2	出身大学の学長又は教育部長（研究科長）等が作成し、厳封したもの。ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
3	学部成績証明書 ※1, 2	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
4	博士学位論文作成計画書	本学所定の様式。本研究科における論文作成計画について記入してください。

5	修士学位論文の写し及び要旨 ^{※1}	学位論文の写し及びその要旨 1 部。ただし、修了見込みの者は、学位論文の進捗状況について記入してください。（本学所定の様式に、2,000 字以内、英語の場合は 1,000 語以内。）なお、関連した論文の別刷又は学術講演、特許等がある場合は、そのコピーを添付してください。
6	推薦書	本学所定の様式。志願者が勤務する研究機関、教育機関、企業等の所属長が作成し、厳封したもの。
7	研究業績資料	本学所定の様式。併せて、査読付き学術論文の写し又は登録特許を証明するもの等を提出してください。
8	受験承認書	様式随意。他の大学院博士課程に在籍中の者又は官公庁、会社等に在職中の者は、当該大学院教育部（研究科）長又は所属長の受験承認書を添付してください。 なお、推薦書の推薦者と同一の場合は提出の必要はありません。
9	大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例の適用申請書	本学所定の様式。（希望者のみ）
10	住民票の写し等（外国人のみ）	現に日本国に在住している外国人は、居住している市区町村長発行の住民票の写し（在留資格が明示されているもの）又は在留カードの写し（両面）を添付してください。

※1 出願資格(7)又は(8)に該当する者で修士の学位又は学士の学位を有しない者は、「修士課程修了証明書」，「大学院成績証明書」，「学部成績証明書」，「修士学位論文の写し及び要旨」の提出は要しません。

※2 英語以外の外国語で記載されたものについては、日本語訳又は英語訳を添付してください。

(4) 出願資格認定申請

- ① 「出願資格(7)」に定める範囲は、次のイ及びホの要件を満たす者、又はロ及びホの要件を満たす者です。
- ② 「出願資格(8)」に定める範囲は、次のハ及びホの要件を満たす者、又はニ及びホの要件を満たす者です。

イ 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した経験を有する者

ロ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した経験を有する者

ハ 短期大学、高等専門学校、専修学校、及び各種学校の卒業生や外国大学日本分校等の修了者など修士の学位を有していない者であって、大学、研究所等において、研究に従事した経験を有する者、又は科学・技術関係分野で業務経験を有する者で、入学時に 24 歳に達している者

ニ 大学を卒業した後、科学・技術関係分野で 2 年以上の業務経験を有する者

ホ 著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者

- ③ 「出願資格(7)又は(8)」により出願する者には、出願資格の事前審査を行いますので、次の書類を添えて**提出期限**までに本学理工系学務課工学部事務室（入試担当）へ提出してください。なお、郵送の場合も期限までに必着とします。

◎提出期限

【令和 7 年 10 月入学・令和 8 年 4 月入学（第 1 次募集）】令和 7 年 7 月 3 日（木）午後 4 時まで

【令和 8 年 4 月入学（第 2 次募集）】令和 7 年 12 月 5 日（金）午後 4 時まで

◎提出書類

- 卒業証明書
- 最終出身学校の成績証明書（出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。）
- 入学試験出願資格認定審査調書（本学所定の様式）
- 研究及び業務上の業績調書（本学所定の様式）
- 論文別刷等

◎審査結果通知

【令和7年10月入学・令和8年4月入学（第1次募集）】令和7年7月10日（木）

【令和8年4月入学（第2次募集）】令和7年12月12日（金）

本人あてに通知しますので、認定された者は、所定の期間内に出席手続をしてください。

(5) 障害を有する入学志願者の事前相談

障害を有する入学志願者は、受験及び修学の際に特別な配慮を希望する場合は、出席に先立ち、本学理工系学務課工学部事務室（入試担当）に相談してください。

なお、相談に際しては、下記事項を記載した書類及び医師の診断書の提出を求める場合があります。

- 障害の種類・程度
- 受験の際に特別な配慮を希望する事項
- 修学の際に特別な配慮を希望する事項
- 日常生活の状況、その他参考となる事項

① 相談期限

【令和7年10月入学・令和8年4月入学（第1次募集）】令和7年6月26日（木）午後4時まで

【令和8年4月入学（第2次募集）】令和7年11月28日（金）午後4時まで

② 連絡先 〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学理工系学務課工学部事務室（入試担当）

電話 076-445-6399

3. 受験票及び受験上の注意事項の印刷

- (1) 受験票は、志願者が郵送した出席書類を本学が受理した後、受験票等発行日以降に、インターネット出席サイト上で印刷ができるようになります。なお、受験票の印刷が可能になりましたら、インターネット出席時に登録した志願者のメールアドレスへ通知します。
- (2) インターネット出席サイトの「ログイン」からマイページにログインします。ログインするためには【メールアドレス・ご自身で設定したパスワード】が必要になります。
- (3) ログイン後、受験票をダウンロードしてください。受験票は、A4用紙にカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。なお、受験票と一緒に受験上の注意事項が印刷されます。必ず事前に熟読してください。

注意事項

- (1) 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出席登録した内容と異なっている場合は、入試に関する問い合わせ先（理工系学務課工学部事務室（入試担当））へ速やかに連絡してください。
また、パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が、一致していることを必ず確認してください。
- (2) メールが届かない場合でも、インターネット出席サイトにログインして受験票、受験上の注意事項を印刷してください。
- (3) インターネット出席登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
- (4) 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参し、試験終了後も大切に保管してください。

4. 合格者発表

以下の日時に合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、合否について、電話その他による問合せには一切応じません。

試験区分	発表日時
令和 7 年 10 月入学 令和 8 年 4 月入学（第 1 次募集）	令和 7 年 9 月 2 日（火）午後 3 時
令和 8 年 4 月入学（第 2 次募集）	令和 8 年 3 月 6 日（金）午後 3 時

5. 入学手続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細については合格者に別途通知します。

(1) 入学手続日

試験区分	入学手続日
令和 7 年 10 月入学	令和 7 年 9 月 12 日（金）予定
令和 8 年 4 月入学（第 1 次募集）	令和 8 年 1 月 21 日（水）予定
令和 8 年 4 月入学（第 2 次募集）	令和 8 年 3 月 13 日（金）予定

(2) 入学手続に要する経費

① 入学料 282,000 円〔予定額〕

ただし、本学の各研究科等の修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本研究科の博士後期課程に進学する場合は、入学料の納付は必要ありません。

なお、上記入学料は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合は、改定時から新たな入学料が適用されます。

② その他 学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要となります。

（注）1. 授業料については、入学後に納付することになります。なお、納付金額・納付方法については入学手続時に案内します。〈参考〉令和 7 年度授業料 年額 535,800 円

2. 納付された入学料は、いかなる理由があっても返還されません。

3. 入学料及び授業料の納付が困難と認められる場合には、選考の上、免除・徴収猶予されることがあります。なお、奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

(3) 注意事項 入学手続日に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

6. 入学志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学前における準備教育及び入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。

(3) 合格者についての受験番号、氏名、住所に限り、本学の関係団体である同窓会（入学者のみ）及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。（注）上記団体からの連絡を希望しない場合は、理工系学務課工学部事務室（入試担当）にその旨を申し出てください。

(4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受

託業者」という。)において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するように指導します。

7. 注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- (3) 志願者本人が作成する書類において ChatGPT 等の生成系 AI を利用することは禁止します。
- (4) 受理された出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- (5) 入学許可の後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- (6) 出願に関する事項その他についての問合せは、下記あてに照会してください。

〒 930-8555 富山市五福 3190
富山大学理工系学務課工学部事務室（入試担当）
電話 076-445-6399

8. 安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供、貨物の輸出の観点から、安全保障輸出管理について厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

【参考】「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」

URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf>

9. 入試情報開示

大学院理工学研究科（博士後期課程）に係る合否判定基準及び出題意図等については以下のとおりです。

- (1) 合否判定基準
口述試験、面接及び出願書類について評語（A・B・C）により評価し、判定する。
- (2) 出題意図等
口述試験及び面接：出題意図を公表する。
- (3) その他
 - ①出題意図等は本研究科ウェブサイトにより公表する。
 - ②入学試験の成績開示は行わない。

富山大学大学院理工学研究科博士後期課程の概要

理工学研究科理工学専攻博士後期課程数理情報学・データサイエンスプログラムの概要は次のとおりです。

○ 数理情報学・データサイエンスプログラム

現在、高度情報化社会の急速な進展の中、高齢化社会にも対応し、さらに社会一般の人々が安全でより快適に生活が出来るよう、より一層の環境整備が求められている。本プログラムでは、今後の情報化社会のさらなる進展を見据え、数学、情報科学、データサイエンスの素養を身に付け、幅広い数理情報学の知識、思考力、問題解決能力を持ち、これからの高度情報化社会を担うことができる高度専門職業人および研究者を養成する。

教育分野	教育・研究内容	担当教員	授業科目
計算機基礎工学	計算機を活用する面でのソフトウェアの基本的開発、有効なソフトウェアを開発する基礎となるアルゴリズムの開発、解析及び計測システムにおける高度な信号処理解析に関する教育研究を行う。	教授 廣林 茂樹 准教授 参沢 匡将 講師 渡邊 卓磨	信号処理特論 機械学習特論 電波センシング特論
医用・生体情報学	情報科学と医学・生物学との融合領域、さらには脳科学、心理学の学問領域に跨る分野に関する教育・研究を行う。具体的には、医用センシング・イメージング、信号・画像処理、パターン認識、バイオインフォマティクス、CG・立体視画像の評価・分析、都市景観照明、高齢者・色覚バリアフリー、ニューロコンピューティング、シナプス可塑性、認知・社会相互作用の評価と支援等を含む。	教授 長谷川英之 教授 片桐 崇史 教授 田端 俊英 特命教授 大嶋 佑介 准教授 高松 衛 准教授 長岡 亮 准教授 大村 眞朗	医用超音波工学特論 医用光工学特論 生体情報処理特論 臨床情報医工学特論 感性情報工学特論 医用超音波計測学特論 医用超音波工学特論
人間情報学	脳・心理・行動・生理活動のマルチモーダル計測と、データサイエンスおよび人工知能の手法を組み合わせ活用し、人間の認知と社会的相互作用を理解・評価する方法と、人々の実生活における知的活動を支援する情報技術の開発に関する教育・研究を行う。	教授 野澤 孝之 准教授 池田 純起	認知インタラクション特論 脳・情報工学特論
人工知能	人間の脳の仕組みをまねた人工ニューラルネットワーク及び人工知能が自ら学ぶ深層学習、蟻コロニー最適化などの群知能、誤差逆伝播法、遺伝的アルゴリズム、進化戦略など幅広い機械学習の開発、解析及び評価方法に関する教育・研究を行う。	教授 高 尚策 助教 雷 振宇	計算知能特論 深層学習特論
計算科学	科学的な問題を分析・解決するために、数学モデルの設計・実装・利用に加えて科学的なシステム・プロセスの数値解析・数値シミュレーションに関する教育・研究を行う。	教授 川口 俊宏 准教授 春木 孝之	宇宙情報科学特論 計算科学特論

数 理 解 析 学	コンピュータや通信技術等の先端技術の急速な進展に対応するため、数理モデルとそこに潜む数理法則を解析する立場から情報数理学の研究を積極的に展開し、表現論、非線形解析、確率過程などに関する教育・研究を行う。コンピュータを駆使して数理現象を解析する能力を備え、科学技術社会の高度情報化に即応し、研究開発能力を持つ人材の育成を目指す。	教 授 山根 宏之 教 授 菊池 万里 教 授 上田 肇一 特命教授 佐藤 勝彦 准教授 出口 英生 准教授 秋山 正和 特命講師 宇田 智紀 助 教 古川 賢	表 現 論 特 論 確 率 過 程 特 論 計 算 数 理 特 論 数理現象解析特論 現象数理学特論
数 理 構 造 学	複雑で高度な科学技術社会を支え、信頼性を追求する数理科学の基礎理論を総合的に研究するとともに、数理現象の数学解析の手法を開拓する。数理構造解析能力を深め、数学的思考能力と論理構成能力に優れた専門家を育成する。	教 授 藤田 景子 教 授 古田 高士 准教授 川部 達哉 准教授 木村 巖 助 教 清水 雄貴 助 教 元良 直輝	複 素 解 析 学 特 論 幾 何 学 特 論 空 間 構 造 論 数 論 特 論
量 子 情 報	量子暗号のプロトコル提案、サイドチャネル攻撃提案及び量子プロトコルの安全性解析、そして量子中継など量子力学の原理を利用して革新的な情報処理を可能にする量子情報理論の教育研究を行う。	教 授 玉木 潔 講 師 水谷 明博	量子情報処理特論 量 子 計 算 特 論
量 子 制 御 理 論	量子力学的効果を利用した情報処理を可能にする量子情報理論、多体量子系の制御を体系的に扱う量子制御理論の教育・研究を行う。種々の制約下での多体量子系制御の実現に向け、数理工学的な研究を通して将来の量子技術開発に資する人材を育成する。	特命教授 丸山 耕司	情 報 熱 力 学 特 論
コンピュータビジョン	人間の目に代わって部品を認識・追跡・検査ができれば、休む必要のない“機械の目”は、疲れを知らずに仕事をこなしてくれます。 人間の「見る」の機能を機械（カメラ）で実現するための研究・教育を行います。	特命教授 張 潮	